

(3) 水田の減水深

表 2-10 は、調査地域の圃場整備事業において測定された水田の減水深である。表によれば、水田の減水深は代掻き期（5月～6月）に 120～160mm/日、普通期に 20～60mm/日を示している。

湿田の一般的な減水深は、壤土で 14mm/日が知られているが（表 2-11）、この値と比べ、鹿沼の減水深は大きい値であることが分かる。これは鹿沼の地盤（玉砂利を多く有する沖積層）が影響しているものと考えられる。

表 2-10 調査地域における水田の減水深

番号	地区名	かんがい 面積(ha)	植付	植付率 (%)	代掻き期(現況、平均)			普通期(現況、平均)			備考
					期間	日数	減水深 (mm/日)	期間	日数	減水深 (mm/日)	
7	下沢引田	54	早期	100	5/16～5/25	10	139	5/26～9/15	113	39	大芦川流域
8	下の内	34	—	—	—	—	145	—	—	46	"
11	酒野谷	78	—	—	—	—	163.5	—	—	63.5	"
16	椈山	23	早期	15	5/6～5/15	10	145	5/16～9/15	123	30	小藪川流域
			普通	85	5/21～5/30	10	—	5/31～9/30	123		
19	野沢磯	72	—	—	—	—	140.5	—	—	40.5	"
24	上殿奈良部	125	早期	100	5/27～6/10	15	144	6/11～9/30	112	45	黒川流域
29	栃窪	47	—	—	5/1～5/15	15	118	5/16～9/15	123	17	赤川流域
35	池の森	22.1	—	—	—	—	125.5	—	—	25.5	"
46	北赤塚	180	早期	80	5/11～5/25	15	126.5	5/26～9/20	118	27	黒川流域
			普通	20	5/26～6/4	10	—	6/4～9/30	118		

表 2-11 一般的な水田の土性区分別減水深

出典：「'96 水資源便覧（国土庁長官官房水資源部）、山海堂」

土性区分	乾湿区分	湿田	半湿田	乾田
強粘土	強粘	11	14	17
	粘土	12	14	19
	壤土	14	17	23
	砂土	17	19	26
泥炭黒泥 土壌	強粘	11		
	粘土	12		
	壤土	14		
黒土土壌	粘土			21
	壤土			29
礫層礫質 土壌	礫質			32
	礫層			34
	全層砂礫層			38

(注)1971～1973年の国営農業用排水事業(新規全体実施設計地区)並びに
1972～1973年の県営農業用排水事業(新規全体実施地区)資料に基づき整理した。